

# 女性に配慮した避難所への改善について

(2012年愛知自治体キャラバンまとめ)

市町村名		女性、特に妊産婦や高齢者に配慮した避難所に改善してください
0	愛知県	<p>避難所は市町村が指定するもので、その整備等は市町村が行います。</p> <p>本県では「愛知県緊急市町村地震防災対策事業費補助金」により、市町村が実施する避難所等のバリアフリー化事業等に対して助成を行っております。</p> <p>また、高齢者や障がい者、妊産婦を始めとする、災害時の一連の行動に対してハンディを負う災害時要援護者の方が必要となる、車椅子、障害者用簡易トイレ、スロープ、間仕切板などの整備に対しても助成しており、市町村が実施する災害時に援護が必要な方への対策を推進しております。</p>
1	名古屋市	<p>本市においては、災害発生直後の避難所における着替えや授乳等を行うスペースを確保するため、平成24年度より間仕切りセットを購入し、小中学校などの避難所指定施設に備蓄することといたしました。</p>
2	豊橋市	<p>妊産婦や高齢者など災害時要援護者で、第一指定避難所での避難生活が困難な場合は、福祉避難所へ収容することとなっています。福祉避難所での環境は、入浴施設、洋式トイレ、バリアフリーなどの環境となっており、災害時要援護者の避難所生活の改善に努めています。</p>
3	岡崎市	<p>東日本大震災を受け、平成24年2月修正の「岡崎市地域防災計画」において、避難所での、女性のプライバシーや高齢者に配慮した運営を行うため、間仕切りやスペースを活用してのプライベート空間の確保や備蓄する物資の品目を配慮するなど、避難所生活での心身面でのご負担の軽減に向けて検討していくこととしております。</p>
4	一宮市	<p>女性や高齢者に配慮するため、避難所内の仕切り資機材や更衣室などにも利用できるテントを備蓄するなど、プライバシーの確保に努めています。</p>
5	瀬戸市	<p>避難所には性別・年齢を問わず、様々な人々が入ります。避難所の運営には女性の参画を推進するとともに、男女のニーズの違い等男女双方の視点に配慮してまいります。</p>
6	半田市	<p>災害発生直後は、人命の安全確保を第一に考えますが、以後は、避難所生活の秩序の維持が大切であると考えております。特に女性や妊産婦への配慮として更衣室や授乳所などの確保に努めるなど、避難所運営上の優先課題として取り組んでまいります。</p> <p>また、高齢者に対しましては、地域のコミュニケーションを大切にしたご近所ごとの部屋割りに配慮することや、必要に応じて市内21か所にしております高齢者施設の利用も考えてまいります。</p>
7	春日井市	<p>当市では、災害時の避難所として市内39の小学校と中部大学をして指定します。指定避難所の備蓄物資については、これまで備蓄していた乾パンから、柔らかく食べやすいクラッカーへ変更しました。また、市の防災倉庫では、粉ミルクや子ども用及び大人用のオムツを備蓄しています。避難所において物資が不足した際には、災害時の応援協定を締結している市内の赤ちゃん用品店や量販店により、物資を確保するとともに避難所へ搬送することとなっています。なお、指定避難所が開設された際には、授乳室や更衣室など、テントを使用して設置するなど、性別等に配慮した運営を行い、日頃からの防災意識啓発事業の中で、市民及び市職員に周知徹底していきます。</p>

市町村名		女性、特に妊産婦や高齢者に配慮した避難所に改善してください
8	豊川市	<p>本市においては、3段階の福祉避難所を開設する計画であり、第一段階として一般の避難所に福祉スペースを、第二段階として市内6施設を公的福祉避難所に、第三段階として市内の社会福祉施設等13施設と協定を締結しており、福祉避難所として、段階的に設置する計画としています。妊産婦についても災害時要援護者に該当するため、第一段階の福祉スペースとして配慮することになります。</p> <p>また備蓄食糧等についても、高齢者に配慮し、アルファ化米ではおかゆでも備蓄しており、またすべてのアレルギー対応食としております。</p> <p>備蓄品の見直しについては、3連動地震への対応の中で検討してまいりますが、女性や高齢者に配慮した避難所運営は、東日本大震災からの教訓であり配慮いたします。</p>
9	津島市	避難所の改善として、間仕切りやパーテーション等の資機材整備に努めてまいります。
10	碧南市	避難所で高齢者等のプライバシーが確保できるように、計画的に間仕切りや仮設トイレを購入しております。
11	刈谷市	<p>公共の福祉施設4か所と民間の福祉施設4か所を福祉避難所として指定しております。</p> <p>また、備蓄品についても離乳食、粉ミルク、車椅子やリクライニングベッド等高齢者や乳児などに配慮したものを配備しております。</p>
12	豊田市	※文書回答なし
13	安城市	避難所においては、市職員、自主防災組織、避難者などで構成される避難所運営委員会を設置することにより、女性や高齢者の意見が反映できる体制づくりを行っています。災害時の備蓄物資につきましては、授乳や着替え時に使用する組立式のプライベートルームや生理用品、哺乳瓶、オムツ等を購入しています。高齢者や障害者など災害時要援護者には、簡易ベッドや車椅子対応トイレ等を購入しています。食料品などは、災害時購入できるよう業者と協定を締結しています。
14	西尾市	避難所にはパーテーションなど、プライバシーの保護に配慮した資機材の配備も進めております。また、小学校区単位の防災訓練等で、実際の体育館を使用し、災害時要援護者に配慮した避難所の分けを行うなど避難所運営訓練を行い、避難所における様々なニーズや問題点を予め把握して対処できるような体制づくりに努めております。
15	蒲郡市	今後、配慮してまいります。
16	犬山市	昨年、市の指定避難所を23か所から47か所に増設しました。避難所には、男性1名、女性1名、計2名の職員を配置し、避難された方に応対させていただくことにしています。今後も、市民のみなさんからいただいたご意見等を踏まえ、改善を図っていきたいと考えています。
17	常滑市	避難所の運営につきましては、常滑市地域防災計画に「女性の参画を推進するとともに、男女のニーズの違い等男女双方の視点等に配慮するものとする。特に女性専用の物干し場、更衣室、授乳室の設置や生理用品、女性用下着の女性による配布、避難所における安全性の確保など、女性や子育て家庭のニーズに配慮した避難所の運営に努めるものとする。」と定めてあります。女性、特に妊産婦や高齢者に配慮した避難所づくりに努めてまいります。
18	江南市	災害時の生活物資に関する協定により、肌着、防寒着、粉ミルクなど、体調維持・管理に欠かすことのできないものを必要に応じて調達します。車椅子など、身体が不自由な方に使用していただけるような資機材を今後も追加し、整備していきます。

市町村名	女性、特に妊産婦や高齢者に配慮した避難所に改善してください
19	<p>小牧市</p> <p>女性が避難所で生活をする際には、プライバシーの確保や着替え、授乳部屋など区画されたスペースを用意するなどの配慮が必要だと考えています。小牧市では災害に備え、体育館での避難生活におけるプライバシーを確保するため容易に組み立てができる間仕切りを240張、プライベートルームを10張備蓄しています。また、妊産婦や高齢者など特に配慮が必要な方が避難をする場所として市内3か所の福祉施設等を福祉避難所に指定しています。</p> <p>今後も東日本大震災での教訓や女性のニーズに合った支援ができるよう避難所の運営方法や備蓄物資の見直しに努めていきます。</p>
20	<p>稲沢市</p> <p>稲沢市では、市内の小中学校を始め、勤労福祉会館、総合体育館など、避難所を41か所の指定をしています。本年度から、保育士等による避難所解説訓練を3日間、5回に分けて実施いたしまして、問題点や改善点の洗い出しをしているところでございます。また、企業との応援協定も積極的に取り組んでおり、ダンボール加工業者と今年の5月末に協定書を取り交わしまして、簡易ベッドや、間仕切り等の供給も出来るようになりました。いろいろなご意見を参考にさせていただき、必要なことから改善してまいります。避難所では、自助共助も大切と考えます。発災直後の避難所開設の際には、避難される方においても、飲料水、食料、毛布などの日用品のお持込等ご協力をお願いしています。</p>
21	<p>新城市</p> <p>避難所にプライベート空間を作るため、間仕切り用ボードを備蓄(防災倉庫への集中備蓄、業者との協定による流通備蓄)しております。協定で提供していただく品目の中に、簡易ベッド(段ボールベッド)を含んでおり、高齢者や体の不自由な人へ優先的に提供したいと考えています。今後も女性や高齢者などへ配慮した対策の検討を続けていきたいと考えています。</p>
22	<p>東海市</p> <p>拠点避難所に一般の避難者と区別したスペースを確保することや既存の公共施設を利用すること等を検討してまいります。</p>
23	<p>大府市</p> <p>昨年度、プライバシー保護の観点から、ダンボール製の間仕切りを各避難所に配備しております。また、高齢者など救護の必要な避難者に対しては、一般の避難者以上の負担を受けるので、必要があれば適切な場所(武道場など)や、施設へ転所できるよう努めていきたいと考えています。なお、本市の備蓄品につきましては、「生命を維持するために必要なもの」を原則に備蓄しておりますので、常備薬や予備のメガネなど、必要不可欠なものは個人や家庭により異なると思っておりますので、各ご家庭で備蓄していただきたいと存じます。</p>
24	<p>知多市</p> <p>たたみの部屋などの優先利用など、女性(特に妊産婦)や高齢者への配慮を考えています。</p>
25	<p>知立市</p> <p>避難所では間仕切りを行いプライバシーの確保を行う予定ですが、集団にて寝泊りする避難所を生活が難しい妊産婦や高齢者などへは、避難所の別の部屋を確保するなど配慮を図っていきます。</p>
26	<p>尾張旭市</p> <p>本市では、避難所における必要な備蓄など過去の災害の教訓や社会状況の変化から、女性に限らず、乳幼児や高齢者の方が必要とされる物資(肌着セット、生理用品、紙おむつ、粉ミルク、哺乳ビン、雑炊など)の備蓄を行っております。また、今年度、授乳、着替えなどプライバシーが確保できる間仕切りの備蓄も行っております。</p> <p>さらには、市内大手スーパー等と食糧、生活必需品等を優先的に供給していただくよう協定も結んでおり、可能な限り、多種多様な物資の提供を協力していただくようになっております。</p>
27	<p>高浜市</p> <p>避難所における妊産婦や高齢者などのプライバシーの確保に向けて、間仕切りパーティションの整備を進めています。また、体育館以外の教室を配慮が必要な方が使用するなどの配慮に努めるよう検討をしています。</p>



市町村名		女性、特に妊産婦や高齢者に配慮した避難所に改善してください
28	岩倉市	妊産婦や高齢者を受け入れる福祉避難所は、災害救助法に基づく救助においては、災害時要援護者に対して特別な配慮をする避難所として位置づけられており、特別な配慮として介助員等の配置や、生活上の支援をするための資機材の整備等一定の条件を満たさなければならないとなっております。現在、指定している避難所の改善ではありますが、適宜必要な措置を講じ、また、災害時に妊産婦や高齢者等を受入れ可能な民間社会福祉施設等と協議し、対応してまいりたいと考えております。
29	豊明市	市防災計画では、災害時の一時避難所として、市内各小中学校及び県立高校を指定しています。また、避難所として、小中学校施設等(体育館)、県立高校施設を転用利用して確保、指定されています。また、準備が整いし、市立保育園などが災害時要援護者優先避難所として指定されています。妊産婦については、災害傷病者と同様に要援護者避難所を利用していただく考えをもっています。また、東日本大震災での教訓をもとに避難所運営が長期化した場合、女性や個人のプライバシーを守る設備が必要であることもあり、必要な設備備蓄もしてまいります。
30	日進市	個人のプライバシーを守ることができるような間仕切りの配備、必要な備蓄品を配備できる体制を整えています。
31	田原市	避難所における間仕切りなどによるプライバシー保護や女性・高齢者用トイレなどの充実を図っていきます。
32	愛西市	市内53施設の避難所の指定所がありますが福祉避難所につきましては未指定です。女性、特に妊産婦や高齢者の避難所での生活は一般市民避難者と同じとなります。弱者対応として、弱者コーナースペースを設ける配慮が必要と考えております。
33	清須市	防災対策に女性の意見を反映させられるよう、防災の現場における女性の参画を拡大し、男女共同参画の視点を取り入れた防災体制の確立に取り組んでいるところです。避難所運営にあっても、ご要望の視点が反映させられると考えています。
34	北名古屋市	災害時の避難所における、着替え及び授乳用のスペース等を確保すべく避難所用間仕切りダンボールを備蓄しておりますが、更なる拡充に努めます。
35	弥富市	現在、避難所の整備を行っております。避難所が整備された時点で、妊産婦・高齢者に配慮した避難所の検討を行います。
36	みよし市	※文書回答なし
37	あま市	施設の改修に併せ、改善できるところから改善していきたい。
38	長久手市	更衣や授乳でも使用可能な高さの間仕切りを備蓄しているほか、市の防災倉庫においては生理用品や粉ミルク、子ども用・大人用紙おむつなどを備蓄しています。
39	東郷町	そうした方々に配慮した避難所となるよう努めます。
40	豊山町	災害時に避難所となるプライバシー配慮のため、間仕切りを順次備蓄しているが、ダンボールの間仕切りを製造している会社と協定を締結し、優先して調達できるようにしています。なお、福祉避難所として総合福祉センターしいの木を指定しています。
41	大口町	※回答なし
42	扶桑町	段ボールの間仕切りの設置を計画するなど、順次進めています。
43	大治町	福祉避難所の指定を始め、間仕切り、ベッド等資機材の整備を図っていく。
44	蟹江町	平成24年度から災害時要援護者の防災資機材を避難所に配備いたします。
45	飛島村	今後の検討課題とします。
46	阿久比町	地震発生後による避難所での暮らしについては、妊産婦や高齢者は、非常に不安であると思います。本町としましては、個人のプライバシーを守るため、段ボールによる間仕切りをし、夜間照明としまして、今年度照明付発電機の購入をし、少しでも不安を取り除く事を心がけています。
47	東浦町	妊産婦及び高齢者等の災害時要援護者が、必要な生活支援が受けられ、安心して生活できる体制を整備した福祉避難所の選定に努めてまいります。
48	南知多町	財政面での問題、平常時の使い勝手などを考慮のうえ、今後検討します。
49	美浜町	避難所に指定しているのは主として小中学校であり、平常時の学校教育に影響を及ぼすような改修工事等は現在予定していません。女性の着替えや授乳等、プライバシー確保を可能とする間仕切り装備の整備を検討したいと考えています。

市町村名		女性、特に妊産婦や高齢者に配慮した避難所に改善してください
50	武豊町	避難所用資材としてプライベートルーム(授乳・着替え用等で使用できる)・障がい者対応の仮設トイレを備蓄しております。少量ではありますが、大人用のオムツなどの備蓄をしております。今後も、災害弱者への避難所対応について考えていきます。
51	幸田町	小学校の備蓄倉庫には、更衣室や授乳室として利用できるファミリールーム(間仕切り)を配備しています。なお、時間が経過してから避難してくる高齢者のために、予めスペースを確保できるように努めます。
52	設楽町	努力します。
53	東栄町	防災担当と今後協議していきます。
54	豊根村	保健センターを福祉避難所として位置付けていますが、今後とも防災担当と協議していきます。